

広報委員 放浪記



大地の母胎 地蔵菩薩

◆撮影場所 第三学区 平岡集落



平岡集落の西の入口に祀られるお地蔵さまは、庶民に1番なじみ深い仏様で慈愛に満ちたお顔をして、人々の安穏な暮らしを見守っておられます。明治時代に村を襲った大火の思い出から村を守る御仏として祀るようになったと言い伝えられ、毎年8月24日には祭祀が村の宿当番の四組が順番に、お膳や供物を供え御詠歌が唱和されます。「ひらけゆくおかに ましますちぞおそん よろづのねがい たのめすくわん なむじぞうがんのうそん なむじぞうだいほさつ」
毎月24日は、集落の棟続きの順番で、だんごやお菓子などがお供えされます。近年では、子宝地蔵さまとも囁かれてるそうです。

●取材/広報委員 ④

清川の稲荷神社

◆撮影場所 清川地区



清川には数箇所に稲荷神社が残されています。清川は最上氏時代から最上川舟運の川港として大変繁栄しました。酒井氏は荘内藩清川関所、川口番所と船見番所を置きました。御諸皇子神社末社、福德稲荷時神社の板臺股は典型的な桃山様式の前建築で当地方では貴重な文化財です。そして船見番所に関わる舟見稲荷神社は昭和44年頃の集中豪雨で崩壊し、社標のみを御諸皇子神社境内に残し、福德稲荷神社に合祀しました。
一方、荘内藩主の参勤交代等の御宿所である御茶屋（本陣）に関わる御茶屋稲荷神社は現在、清川公民館正面に残されており、今でも毎年9月15日に例祭が行われています。



●取材/広報委員 ④



石造 胎蔵界大日如来坐像
本町には、大日如来の仏像が六軀あり、この像はその内の一つ胎蔵界大日如来です。高さ38.0cm、膝張り28.0cmあり、如来の理性の面をいいます。仏の菩提心が一切を包み育成することを母胎に例えたものです。この像の手は、胎蔵界の印である法界定印（坐禅の時の手の組み方で、右手を左の足のの上に置き、その上に左手をのせて両手の親指を自然に合わせたものを結んでいます）。
造立年代は室町時代で、本町最古の石造文化財です。
平成2年3月に町指定文化財に指定されました。

庄内町の文化財

5/15 「つや姫」デビュー10周年 記念田植えイベント



廿六木の高梨是男さんの圃場で、つや姫と同じく今年10歳になる余目第三小学校の4年生児童40人や、来賓、関係者など多くの方が田植えに参加しました。

5/15 小体連陸上競技会



立川小学校グラウンドを会場に、町内5つの小学校の5・6年生365人が100m走や走り幅跳びなどの種目に挑み、日ごろの練習の成果を発揮していました。

5/9-23 仙台の中学生が町で体験！ 教育旅行



5月9日～10日、14日、22日～23日に、仙台市にある3つの中学の生徒162人が庄内町を訪れ、農業体験や民泊など普段できない経験を楽しみました。

5/22 花いっぱい・さわやか あいさつ運動 花苗の植栽



立川地域の保育園、幼稚園、小中学校、公民館、地域住民377人が一緒になって、立川風楽風流通り（かろり）に花苗920本の植栽活動を行いました。

5/22 庄内総合高校と 地元企業との交流会



庄内地区の企業20社と庄内総合高校2年生95人と3年生101人が参加し、生徒たちが将来働く自分を考えるきっかけづくりを目的にした交流会が開かれました。

5/26 春季消防演習



小隊訓練、中隊訓練、小型ポンプと自動車ポンプによる操法、分列行進が行われ、指揮者の号令のもと、消防団員は堂々とした動きで演習を行っていました。